

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	大腸癌肝転移切除例に対する手術侵襲および術前補助療法が術後補助化学療法 の安全性および有効性に及ぼす影響 [倫理審査受付番号：第 4244 号]
研究責任者氏名	兵庫医科大学 下部消化管外科 片岡幸三
研究機関長名	兵庫医科大学長 野口 光一
研究期間	2022 年 11 月 26 日 ~ 2024 年 1 月 1 日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。
	疾患名：大腸癌肝転移 / 診療科名等：下部消化管外科
	受診日：西暦 2015 年 1 月 1 日 ~ 2022 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の種類	試料等 <input checked="" type="checkbox"/> カルテ情報 <input type="checkbox"/> アンケート その他()
	取得の方法： <input checked="" type="checkbox"/> 診療の過程で取得 その他()
研究目的・意義	当院で大腸癌肝転移病変を切除された方を対象に、手術や術前化学療法などの侵襲が術後の補助化学療法の実施に与える影響を調査し、安全性・有効性の観点から、どのような患者様への術後補助化学療法施行が最適か探索することを目的とします。肝切除後の術後補助化学療法は手術術式によって非常に患者様にとって侵襲的となることもあります。化学療法を安全性および有効性の観点で避けるべき対象を探索することで、より QOL の高い治療を大腸癌肝転移患者様に提供することが可能となります。
研究の方法	上記期間に当院で大腸癌肝転移切除を受けられた方の情報（大腸癌の病期など、肝転移巣の大きさや個数、手術の術式・術後合併症について、化学療法の内容や施行コース数についてなど）を過去のカルテから収集し、術前療法の内容により比較検討を行います。
個人情報の 取扱い	個人情報と診療情報に関する記録の一部は外部に漏れたり、本研究の解析以外の目的で使用されないよう厳重に管理されます。個人情報は個人が識別できないような形となっており、患者氏名やカルテ番号に代わる識別指標を作成したうえでその対応表を作成し、それらは施設で厳重に管理されます。
本研究に関する	診療科名等：下部消化管外科

連絡先	担当者氏名：片岡幸三、伊藤一真 [電話]（平日 9～17 時）0798-45-6372 （上記時間以外）0798-45-6111
-----	--